

香港株式市場フラッシュ

包括的金融政策「10の施策」～預金準備率引き下げと銀行株

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

フィリップ証券株式会社

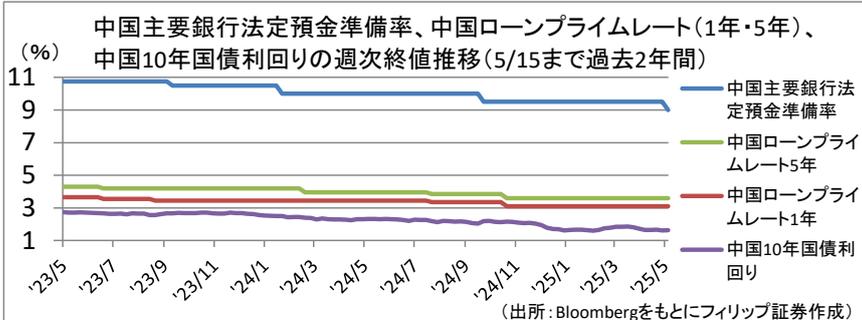
2025年5月14日号(5月14日作成)

”包括的金融政策「10の施策」は強力な金融緩和ツール“

中央銀行の中国人民銀行は5/7、米国との貿易戦争にさらされる中国経済への支援を強化するため、7日物リバースレポ金利を0.1ポイント引き下げて1.4%へ、預金準備率を0.5%引き下げて9.0%にすると表明。最優遇貸出金利であるローン・プライムレートも約0.1ポイント引き下げる効果が期待されている。今回の措置は4/25の中央政治局会議を受け、借入コストの押し下げを目的として潘総裁が打ち出した「10の施策」の一部となる。

包括的金融政策である「10の施策」の内容は、前半5項目が預金準備率と各種金利の引き下げである。①金融機関の預金準備率の0.5ポイント引下げ、市場に約1兆元の長期流動性を供給する。②自動車金融会社・金融リース会社の預金準備率を現在の5%から0%に段階的に引き下げる。③7日物リバースレポ金利を現在の1.5%から1.4%へ引き下げる。その他にも、構造的金融政策ツール金利および個人住宅積立金ローン金利の0.25ポイント引き下げが示された。

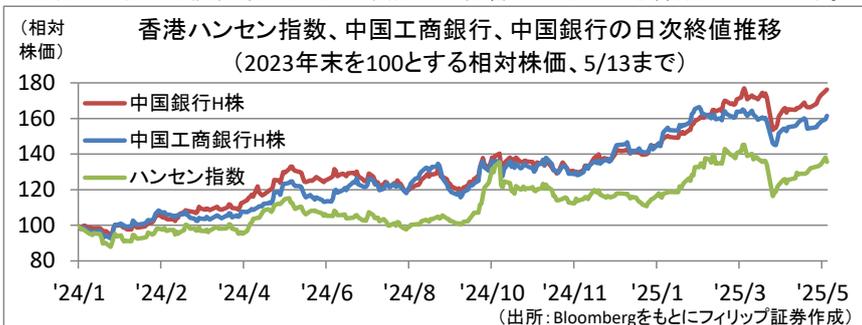
後半5項目では、特定分野を対象とする金融支援措置が示され、「両新政策」(大規模設備の更新、消費財の買い替え)の推進を目的とする科学技術イノベーション、設備更新向けのリファイナンス極度額の増額、サービス消費・養老関連産業振興に向けたリファイナンス・ファシリティーの新設、資本市場を支援する2つの金融政策ツールを最適化するため、証券・基金・保険会社向けのスワップファシリティー枠(5000億元)と自社株買い・買い増しへの再貸出枠(3000億元)の統合などの項目が含まれている。



”預金準備率引き下げと銀行株“

預金準備率とは、預金のうち一定割合を中央銀行に預けておかなければならない比率である。預金準備率が下がれば、銀行はより多くの資金を貸出や投資に回すことができる。中央銀行への準備預金は通常は無利子または非常に低利であることから、貸出や相対的に高利回りの運用に回すことで銀行の収益改善が見込まれる。ただ、金利が低すぎる場合は預貸の利ざやが縮小してしまうことから、貸出が伸びても収益に貢献しにくい面が出てくることには要注意だろう。

金融安定理事会(FSB)が定める「グローバルなシステム上重要な銀行(G-SIBs)」の中で、上から4番目の「Bucket2」に選ばれている**中国工商银行(1398 香港)**と**中国銀行(3988 香港)**の株価を見ると、2024年初以降のパフォーマンスでハンセン指数を上回る。「国家隊」と呼ばれる政府系ファンドによる上場投資信託(ETF)買いが銀行株のように時価総額の大きい銘柄への影響が大きい点も背景にあるだろう。



ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全96銘柄)における終値の昨年末来騰落率

前回基準日: 20250429 基準日: 20250513

順位	2024年末来騰落率・上位10銘柄 (%)	前回順位	
1	小鹏汽車	68.8	2
2	金蝶国際軟件集团[キングディー・ソフトウェア]	61.5	4
3	阿里健康信息技术[アリババヘルス・インフォメーション・テクノロジー]	55.7	3
4	周大福珠寶集团[チャウタイフックジュエリー・グループ]	54.8	6
5	アリババ・グループ・ホールディング	53.0	7
6	比亞迪 [BYD]	48.5	8
7	華虹半導体[ファホン・セミコンダクター]	46.0	1
8	小米集团[シャオミ]	41.0	10
9	JD Health International Inc (京東健康)	35.2	13
10	中芯国際集成电路製造 [SMIC]	34.1	5

順位	2024年末来騰落率・下位10銘柄 (%)	前回順位	
96	East Buy Holding Ltd	-33.3	95
95	ASMPT	-25.5	94
94	金沙中国 [サンズ・チャイナ]	-23.6	96
93	ニュー・オリエンタル・エデュケーション・アンド・テクノロジー	-22.1	91
92	信義光能[シンイー・ソーラー]	-18.8	88
91	比亞迪電子(国際) [BYDエレクトロニクス]	-12.5	92
90	国業控股[シノファーム・グループ]	-12.2	84
89	中升控股[フォンサン・グループ・ホールディングス]	-10.3	89
88	海爾智家[ハイアールスマートホーム]	-10.0	90
87	蔚来汽車[ニオ]	-9.5	66

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【2025年5月: 中国主要経済指標】

- 5月1日(木)
 - ・4月(財新)製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回51.2、結果50.4
 - 5月6日(火)
 - ・4月(財新)サービス部門PMI: 前回51.9、結果50.7
 - 5月7日(水)
 - ・4月外貨準備高: 前回3.240兆USD、結果3.281兆USD
 - ・7日物リバースレポ金利0.1ポイント、預金準備率0.5ポイント引下げ
 - 5月9日(金)
 - ・4月貿易収支: 前回+1026億USD、結果961億USD
 - ・4月輸出<前年同期比>: 前回+12.4%、結果+8.1%
 - ・4月輸入<前年同期比>: 前回▲4.3%、結果▲0.2%
 - 5月10日(土)
 - ・4月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回▲0.1%、結果▲0.1%
 - ・4月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回▲2.5%、結果▲2.7%
 - 5月13日(火)～15日(木)
 - ・4月資金調達総額: 前回151.80兆元
 - ・4月新規人民元建て融資: 前回9.78兆元
 - ・4月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+7.0%
 - 5月13日(火)～18日(日)
 - ・4月対外直接投資<前年同月比>: 前回▲10.8%
 - 5月19日(月)
 - ・4月小売売上高<前年同月比>: 前回+4.6%
 - ・4月鉱工業生産<前年同月比>: 前回+6.5%
 - ・1-4月不動産投資<前年同期比>: 前回▲9.9%
 - ・1-4月固定資産投資<前年同期比>: 前回+4.2%
 - ・4月住宅販売面積<前年同月比>: 前回▲0.4%
 - ・4月新築住宅価格<前月比>: 前回▲0.08%
 - ・4月調査失業率<前年同月比>: 前回5.2%
 - 5月20日(火)
 - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.10%
 - ・5年ローン・プライムレート: 前回3.60%
 - 5月27日(火)
 - ・1-4月工業利益<前年同月比>: 前回+0.8%
 - 5月31日(土)
 - ・5月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.0
 - ・5月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.4
- (出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、当レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。